【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公表番号】特表2002-505381(P2002-505381A)
【公表日】平成14年2月19日(2002.2.19)
【出願番号】特願2000-534688(P2000-534688)
【国際特許分類】
Ｃ２１Ｄ　9/30　(2006.01)
Ｃ２１Ｄ　1/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２１Ｄ　9/30　Ｂ
Ｃ２１Ｄ　1/10　Ｍ
Ｃ２１Ｄ　1/10　Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月22日(2006.2.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】請求項１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１０】　半径方向（Ｒ）で稼動する調整装置（１１、１２）の目的が、インダクタ（３、４）を含む加熱ユニット（１、２）を全体として動かすことであることを特徴とする請求項１から９のいずれか一項に記載の装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明のこれとは別の有効な形態には、半径方向で稼動する調整装置の目的が、インダクタを含む加熱ユニットを全体として動かすことであるという特徴がある。もし軸方向に稼動する調整装置の目的が、インダクタを含む加熱ユニットを、全体として動かすことであれば、やはり有効である。この方法において、運転の安全性の向上に、インダクタ及び動力と冷却液の供給装置それぞれの間の接続に関する費用のより以上の低減を加えることが可能である。